

平成 24 年度第 2 回広島県公立大学法人評価委員会議事要旨

- 1 日 時 平成 24 年 12 月 27 日 (木) 13:30~15:30
- 2 場 所 広島県庁本館 102 会議室
- 3 出席委員 古賀委員長, 金安委員, 葛原委員, 福田委員
- 4 議 題 (1) 委員長選出について
(2) 第一期中期目標期間終了時の検討について
(3) 第二期中期目標案について
(4) 中期目標期間評価について
- 5 担当部署 広島県環境県民局学事課大学管理グループ
TEL (082) 228-2111 (内線 2752)

6 会議の内容

(1) 委員長選出について

平成 24 年 7 月末の任期満了に伴う高橋前委員長の退任を受けて、広島県公立大学法人評価委員会条例第 4 条第 1 項に基づき、互選により、古賀委員が新たに委員長に選任された。

(2) 第一期中期目標期間終了時の検討について

事務局から、資料 1 により、業務を継続させる必要性、組織の在り方その他組織及び業務の全般にわたる検討の結果について説明があり、現状の課題や新たなニーズに対応するよう第二期中期目標を策定することをもって、法 31 条に基づく「所要の措置」を行うこととすると示された。委員からは次のとおり意見が出された。

【委員意見】

- ・ これまでの業務実績評価結果等から、公立大学法人県立広島大学は県にとって必要な団体・組織であり、中期目標期間における終了時の検討は適当であり、特段の意見はない。
- ・ 学長の優れたリーダーシップの下での科学研究費補助金の申請率及び獲得件数率等は、際立って評価できるポイントであり、他の実績と並列的でなく、強調してはどうか。

(3) 第二期中期目標案について

事務局から、資料 2 により説明があり、委員からは次のとおり意見が出された。

【委員意見】

- ・ 教育課程全体に対して、組織として責任を持って質保証を行うための成績評価のあり方等を検討するなど、学位を与える課程としての「教育プログラム」中心の授業科目の編成への転換を掲げていることは、非常に時機を得た目標設定になっていると評価できる。
- ・ 地元の産業界に資する研究や共同研究など、伸ばす余地のある外部資金獲得方法を積極的に活用するよう意識改革をしていくこと。
- ・ 企業が自発的に寄付金を出す雰囲気作り等、寄付金集めのノウハウを身につけること。

- ・ 外部資金を獲得後，運用していくにあたっての仕組みを考えること。
- ・ 地域貢献については，地域に資するという意味合いのことが多いが，地域からも育ててもらって一緒に育っていくというような感覚が必要であり，大学資源の地域への提供と協働による新たな知的資産の創造，といった表現を加えていただきたい。
- ・ 理事長のトップマネジメント強化のために，風通しが良く，学生や教職員同士が日ごろからコミュニケーションを図り，切磋琢磨していく活気のある組織環境を確立すること。
- ・ 本文中の表現，特にカタカナについて，県民に理解してもらいやすいように用語をしっかりと練り直し，誤解や齟齬がないようにすること。

(4) 中期目標期間評価について

事務局から，資料3により説明があり，委員からは次のとおり意見が出された。

【委員意見】

- ・ これまでの評価委員会による評価結果と認証評価機関による評価結果には大きく齟齬はないと考えるため，今までの積み上げ方式に認証評価結果を加味する評価方法で問題ないと思われる。

7 会議の資料名一覧

【配付資料】

- 資料1 中期目標期間終了時における検討の実施について
- 資料2 公立大学法人県立広島大学 第二期中期目標（案）
- 資料3 中期目標に係る業務の実績に関する評価について（案）
- 資料4 公立大学法人県立広島大学 第二期中期目標・中期計画策定スケジュール

参考資料1 公立大学法人県立広島大学 第一期中期目標（平成19～24年度）

参考資料2 公立大学法人県立広島大学に係る各事業年度業務実績評価実施要領